

社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail 可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引きいたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町 4342 (〒 194-0298) F. 042-783-2311

2009.9.1 ~ 2009.9.30 受け入れ分

(文献資料名)	(著者名)	(収録誌名)	(巻-号) (月 号)
	*印単行書の場合→	(発行所)	(刊・頁) (刊行年月)
I 理論・一般			
1. ジェンダー・フェミニズム・女性論			
男女共同参画社会基本法制定10年の歩みとこれからの男女共同参画社会への展望 (座談会) (岩男壽美子 鹿嶋敬 内海房子 原ひろ子 司会:板東久美子) 共同参画 14 09.6			
* 「変わってしまった女」と「変わりたいくない男」	三浦清一郎	学文社	B6.171 09.4
7. 社会保障論			
改革期に入ったインドネシアの社会保障	菅谷広宣	賃金と社会保障	1490 09.5.下旬
日本社会保障史における「後期高齢者医療制度」	相澤興一	賃金と社会保障	1490 09.5.下旬
* 健康保険組合論 (医療政策と健康保険組合の役割) の構築に関する調査研究 中間報告書 健康保険組合連合会 A4.143 09.6			
* ドイツの医療保険制度改革追跡調査報告書		健康保険組合連合会	A4.167 09.6
8. 社会福祉論			
福祉契約に関する理論的諸問題	平田 厚	国民生活研究	49-1 09.6
* 湯浅誠が語る「現代の貧困」湯浅誠, 金子勝対談	大高研道, 高端正幸編	新泉社	A5.117 09.6
* 生活の質を維持した神経難病患者の在宅における療養生活と在宅ケアシステムの課題	野村志保子	木村看護教育振興財団	A4.196 09.9
9. 産業・労働社会学			
特集 教育と労働		日本労働研究雑誌	588 09.7
教育が賃金にもたらす因果的な効果について (安井健悟 佐野晋平) 教育と労働 (『日本労働研究雑誌』編集委員会) 専修学校卒業者の就業実態 (濱中淳子) 富山県「14歳の挑戦」にみる職場体験の現状と課題 (寺崎里水) 教育と労働と社会 (矢野眞和) 女性の高学歴化 (石田潤一郎) 子どもの教育成果の決定要因 (小原美紀 大竹文雄)			
11. 職業教育・訓練論			
* 大学だけじゃないもうひとつのキャリア形成	平沼高, 新井吾朗編著	職業訓練教材研究会	B6.275 08.10
* 転勤と既婚女性のキャリア形成	三善勝代	白桃書房	A5.307 09.3
* 地方の若者の就業行動と移行過程		労働政策研究・研修機構	A4.346 09.5
* 働き方革命	駒崎弘樹	筑摩書房	B40.200 09.5
* 非正社員の企業内訓練についての分析		労働政策研究・研修機構	A4.113 09.5
II 労働問題			
20. 総記			
ワーク・ライフ・バランス論に関する一考察	清山 玲	茨城大学人文学部紀要 社会科学論集	47 09.3
* HIV感染者就労のための協働シンポジウム報告書		はばたき福祉事業団	A4.113 09.3

* 週刊RO通信 2008年	奥井禮喜	ライフビジョン	A6.219	09.3
21. 雇用・労働市場				
GMの破産と労働者 (上)	大塚秀之	経済	167	09.8
特集 「復活の芽」		産政研フォーラム	82	09.Summer
「ワーク・ライフ・バランス」施策で企業活力の復活を (脇坂 明) 低インフレ時代の賃金決定メカニズム (黒田祥子) 最近の雇用問題に対する日本経団連の対応について (高橋弘行)				
オーストリアにおける労働市場の流動性と雇用の安定	馬場 優	社会科学研究年報 (龍谷大)	39	09.5
* ある日突然、失業したら、どうする・どうなる	日向咲嗣	明日香出版社	B6.227	09.5
* 雇用危機をどう乗り越えるか	中野雅至	ソフトバンククリエイティブ	B40.228	09.5
* 雇用再生	山田 久	日本経済新聞出版社	B6.273	09.5
* 雇用の常識「本当に見えるウソ」	海老原嗣生	プレジデント社	A5.207	09.7
22. 労働条件				
09年版福祉職場の賃金・労働条件チェックの手引き		福祉のなかま 情報版	170	09.3
* 働く場所と時間の多様性に関する調査研究		労働政策研究・研修機構	A4.184	09.3
* 会社に「辞めてくれ」と言われたときあなたを守る「防衛5カ条」		労働問題研究会	B6.190	09.5
23. 賃金問題				
* 公務員の給与はなぜ民間より4割高いのか	北見昌朗	幻冬社	B6.199	08.12
* 男女間賃金格差問題読本	浅尾 裕	労働政策研究・研修機構	A4.113	09.5
24. 労働時間				
2008年『賃金事情等総合調査』(下) 大企業における労働時間の実態				
	中央労働委員会事務局	旬刊賃金・労務通信	62-14	09.5.25
労働時間の趨勢と変動	村尾徹士	日本労働研究雑誌	588	09.7
25. ホワイトカラー労働				
* 貧困化するホワイトカラー	森岡孝二	筑摩書房	B40.253	09.5
26. パート・派遣労働				
特集 ヨーロッパにおける派遣労働の動向		季刊労働法	225	09.夏季
ドイツ労働者派遣法における均等待遇原則の機能と限界 (川田知子) フランス派遣労働法制における均等待遇原則 (大山盛義) EU派遣労働指令の成立課程とEU諸国の派遣法制 (濱口桂一郎) ドイツにおける派遣労働の特徴と請負・派遣区分に関する基準 (大橋範雄)				
非正規は立ち上がった労働組合の力				
(座談会) (松本浩利 河本猛 石田進 森口英昭 司会: 岡清彦)		経済	167	09.8
非典型雇用に対する英国の法制度				
(講演) (発題者: サイモン・ディーキン コーディネーター: 寺井基博)		国際産研	28	09.6
伊藤彰信氏の『派遣切り』雑感を読んで	松岡宥二	地域と労働運動	104	09.6
* 派遣の逆襲	関根秀一郎	朝日新聞出版	B40.222	09.5
* 派遣法改正で雇用を守る	西谷敏, 中野麻美	旬報社	A5.126	09.5
* 今日、派遣をクビになった	増田明利	彩図社	B6.222	09.6
28. 女性労働				
男女平等への道	クレア・クラーク	トランスポートインターナショナル	35	09.4~6
貧困の解決には差別の根絶が必要 (報告) (榎原裕美)		労働情報	769	09.6.15
* 子育てで女性の消費事情	日本経済新聞社産業地域研究所編	日本経済新聞出版社	A4.119	08.11
* 働くママが日本を救う!	光畑由佳	毎日コミュニケーションズ	B40.199	09.5
30. 若年労働				
労働運動の現在であり未来でもある青年				
	インゴ・マロスキー	トランスポートインターナショナル	35	09.4~6
若者の雇用問題と経済学	伊藤大一	経済	167	09.8
* 働く力	三浦 展	宝島社	A6.214	09.5

- *叢書・働くということ 6巻 小杉礼子編著 ミネルヴァ書房 A5.238 09.8
31. 中高年労働
- 特集 再雇用制度を考える 国労文化 493 09.6
JR西日本におけるシニア社員の労働条件と現状(青木達夫) シニア社員として国労と共に生きる 今日もまた・・・爺のひとりごと(向井克信) JR東日本のエルダー社員制度を考える(国労文化編集部) JR北海道の職場から 六〇歳定年を控えて想う事(小杉 茂)
- 特集 高齢者活用 労政時報 3750 09.5.22
定年延長・定年後再雇用の最新事例(労務行政研究所編集部) 65歳定年時代を見据えた高齢者雇用の在り方(藤原 崇)
- *叢書・働くということ 8巻 清家篤編著 ミネルヴァ書房 A5.294 09.8
32. 障害者労働
- 施設における障害者訓練と労働者性判断に関する一考察 柳屋孝安 季刊労働法 225 09.夏季
特集 障害者雇用の方向性を探る 季刊労働法 225 09.夏季
障害者雇用の法理(山田省三) 障害者雇用の今後のあり方をめぐって(松井亮輔) 障害者雇用の現状と法制度(田口晶子) 差別禁止法における「障害」(disability)の定義(長谷川珠子) イギリス障害者差別禁止法の差別概念の特徴(長谷川聡) フランスの障害者雇用政策(永野仁美) 日本における障害者雇用にかかる裁判例の検討(小西啓文)
- ドイツ法における障害のある人の雇用平等 福島 豪 賃金と社会保障 1492 09.6.下旬
特集 障害者の権利条約と障害者雇用 労働法律旬報 1696 09.5.下旬
ドイツの障害者雇用の現状と検討課題(小西啓文) アメリカの障害者雇用(永野秀雄) EU均等法と障害のある人・家族・支援者の雇用(引馬知子) 裁判に見る日本の障害者雇用の現状(清水建夫) 障害者権利条約とわが国の障害者の一般雇用施策関係法の問題点と課題(山田耕造)
- *障害者の一般就労を成功に導くパートナーシップ 日本障害者リハビリテーション協会 A4.149 09.3
*地域でささえる障害者の就労支援 山崎順子, 六波羅詩朗編 中央法規出版 B5.221 09.3
*精神障がい者雇用のためのQ&A
障がい者就業・雇用支援センター編 秦政監修 UDジャパン A5.214 09.4
*障害者雇用法制に関する比較法的研究 労働問題リサーチセンター A4.278 09.5
33. 外国人労働
- 日本で働くビルマ人 権利と安心を ティン・ウィン ひろばユニオン 569 09.7
介護・家事労働を担う外国人労働者の権利保障 太平満恵 龍谷大学大学院法学研究 10 08.7
改定入管法等衆院可決と移住連全国ワークショップ 高谷 幸 労働情報 770 09.7.1
*移民・難民・外国人労働者と多文化共生 増谷英樹編 有志舎 A5.240 09.5
34. 技術革新
- 在中国日本人派遣者の現地マネジメント上の課題 白木三秀 日本労働研究雑誌 588 09.7
35. 労災, 職業病, 健康問題
- AAC2009の香港開催とA-BANネットワークの発足 古谷杉郎 安全センター情報 362 09.7
アスベスト禁止をめぐる世界の動き 安全センター情報 362 09.7
石綿禁止台北宣言を採択 脳心・精神障害認定の比較 古谷杉郎 安全センター情報 362 09.7
審査請求で「逆転認定」増加 脳・心疾患の「認定率」微増 安全センター情報 362 09.7
新聞社社員出張先でも膜下出血 ひろばユニオン編集部 ひろばユニオン 569 09.7
労働災害による死亡者数は1,268人 労働法令通信 2182 09.6.8
36. ハラスメント
- 「パワー・ハラスメント」とは何か,それが労働法上提起する課題 石井保雄 季刊労働法 225 09.夏季
人事労務担当者が知っておきたい職場内ハラスメント対応の実務基礎知識 涌井美和子 労働法学研究会報 2456 09.7.1
38. 生活問題
- 派遣村の「春の派遣村アクション」パンフレット 派遣村実行委員会 賃金と社会保障 1490 09.5.下旬
*ワーキングプア死亡宣告 巨椋修, 犬山秋彦, 山口敏太郎 普遊舎 B40.253 08.11

Ⅲ 労働運動

40. 総記			
特集 労働組合はどこへ行く	都市問題	100-6	09.6
派遣切りは政治災害(鴨 桃代)「待ったなし」の公務員労使関係制度の見直し(清水 敏)労働組合の弱体化で非正規雇用問題は深刻化した(田端博邦)労働契約法の充実と労働組合の役割(鴨田哲郎)			
41. 労働組合・運動論			
他労組の青年はJR職場と組合をどう見ているか(インタビュー)(国労文化編集部)	国労文化	493	09.6
委託・臨時非常勤組織化と強化運動を拡大運動へ	植田 順 自治労通信	735	09.3/4
ユニオン運動の難しさと可能性	長谷川実 地域と労働運動	104	09.6
*日本の労働組合	岩崎 馨 日本生産性本部生産性労働情報センター	A5.90	09.5
*労働組合とは何か 改定	奥井禮喜 ライフビジョン	A6.217	09.5
42. ナショナルセンター			
ポスト連合20周年希望のある中期展望を	ひろばユニオン	569	09.7
働く者の立場で判断できる知識と覚悟をもって	竹詰 仁 連合	22-2	09.5
44. 単産, 単組			
JP労組中央を打倒し, 労働組合を取り戻そう!	全通労働者部会 月刊交流センター	232	09.7
新入社員の国労加入に向けた取り組み	佐藤 治 国労文化	493	09.6
特集 第179回拡大中央委員会報告	国労文化	493	09.6
「解決布陣に相応しい一枚岩の団結を礎とし, 毗(まなじり)を決して奮闘していこう」(国労文化編集部)			
JR採用差別問題「政治の決断」を求め, 解決に全力を注ぐ(国労文化編集部)			
安定した年収を月例賃金改善で前進	宮澤 賢 ひろばユニオン	569	09.7
官製ワーキングプア「反貧困集会」で訴える	白石 孝 ひろばユニオン	569	09.7
頑張ってます女性執行委員(72)	安藤久美子 ひろばユニオン	569	09.7
公務員受難 官民こえた連帯を	久保秀明 ひろばユニオン	569	09.7
育てよう次世代役員「労働講座」で学ぶ	鳥居孝信 ひろばユニオン	569	09.7
困っている労働者に力を貸すのは, 組合として当たり前だ	小山正樹 連合	22-2	09.5
民主化が実現したときのために, 日本の労働運動を学んでいる	上田正知 連合	22-2	09.5
*中浦水門と共に32年	商船三井海事中浦事務所	A4.110	09.3
*路面電車を守った労働組合	河西宏祐 平原社	B6.309	09.5
*労働紛争発生メカニズムと解決プロセス	労働政策研究・研修機構	A4.142	09.6
*フリーター労組の生存ハンドブック	清水直子, 園良太編著 大月書店	B6.212	09.7
45. 団体交渉, 労働協約			
「使用者が雇用する労働者」の退職と団交応諾命令の拘束力	本庄淳志 季刊労働法	225	09.夏季
60年ぶりの公務労使関係の改革にむけて	自治労道本部公務員制度改革対策委員会 自治労通信	735	09.3/4
46. 賃金闘争(含 生活改善闘争)			
09春闘要求アンケートの結果	福祉のなかま 情報版	169	09.2
6・14-15連続闘争の高揚から11月労働者集会1万結集へ	田中康宏 月刊交流センター	232	09.7
世界同時不況に直撃されるJR貨物の課題と09春闘	国労北海道本部教宣部 国労文化	493	09.6
賃上げは1.7%台半ばに収斂方向	旬刊賃金 労務通信	62-14	09.5.25
48. リストラ・雇用対策			
森精機・プレミア解雇撤回闘争が切り拓いた地平	長田 徹 月刊交流センター	232	09.7
日本郵便事業(株)が大量の非正規切り	椿 茂雄 労働情報	770	09.7.1
49. 権利闘争			
福祉職場の「働ががい」を「絶望」にかえないために	前田鉄雄 福祉のなかま 情報版	171	09.4
あっせん制度の手続	野田 進 季刊労働法	225	09.夏季
7・17全一日行動を大成功させよう!	吉野元久 月刊交流センター	232	09.7
世直しに立ち上がる公務労組	坂本正義 地域と労働運動	104	09.6
51. 教育文化宣伝活動			
動労千葉労働学校で学ぼう!	月刊交流センター	232	09.7

- 労組が大学に 自治労の寄附講座 ひろばユニオン 569 09.7
53. 労働組合と社会問題, 社会運動
-
- 8月ヒロシマ・ナガサキ反戦反核闘争に総決起しよう
広島県労働組合交流センター 月刊交流センター 232 09.7
- ひめじょおん 女性部から 西村清美 月刊交流センター 232 09.7
- 「自由と生存の家」オープン 小林蓮実 労働情報 769 09.6.15
- 全面勝利解決の意義と勝利の要因 須田光照 労働情報 769 09.6.15
- 労働運動と社会保障運動が再び手をつなぐ時がやって来た 湯浅 誠 労働法律旬報 1696 09.5.下旬
- IV 経営労務
60. 総記
-
- 生産システム論の再構成 齋藤 毅 評論・社会科学(同志社大) 88 09.3
- * CSRとヒューマン・ライツ 齋藤悦子 白桃書房 A5.170 09.3
- * 中同協40周年記念誌 中同協40周年記念誌刊行委員会編 中小企業家同友会全国協議会 A5.205 09.7
61. 人事・労務管理
-
- 日本企業の「グローバル人的資源管理」に関する一考察 古沢昌之 大阪商業大学論集 151/152 09.5
- 日本の人事部・アメリカの人事部
(講演)(発題者:サンフォード・M. ジャコビー コーディネーター:石田光男他) 国際産研 28 09.6
- これからの人事制度の展望(6) 笹島芳雄 旬刊賃金・労務通信 62-13 09.5.15
- 採用意欲後退, 09年度予定企業は8割台 日本経団連 旬刊賃金・労務通信 62-14 09.5.25
- 特集 日本の経営人材育成を考える 人材教育 247 09.7
- 学歴よりも意欲を重視し, より早く, より長く, 経営人材を育成すべき(三品和広) 課題形成能力を持つ
リーダーが成熟した現代社会を牽引する(横山禎徳) これからの経営人材育成に求められるものとは(村
橋健司 近田高志)
- * 日本のワークシェアリングの“ススメ” 長倉貞雄 アスク B6.141 09.4
- * 出産・育児期の就業継続と育児休業 労働政策研究・研修機構 A4.105 09.5
62. 賃金管理
-
- セミナー実況中継 伸びる組織のための人事・賃金基礎講座 不況に克つ, 改革への
オリエンテーション(1)~(3) 赤津雅彦 旬刊賃金・労務通信 62-8~62-14 09.3.25~09.5.25
- 2008年『賃金事情等総合調査』(上) 大企業モデル賃金の実態
中央労働委員会事務局 旬刊賃金・労務通信 62-13 09.5.15
- 最新北海道における諸手当の支給実態 北海道経営者協会 旬刊賃金・労務通信 62-13 09.5.15
64. 定年制, 退職金, 企業年金
-
- 日本の企業の退職金制度に関する研究 烏日娜, 松田陽一 岡山大学経済学会雑誌 41-1 09.6
- 特集 企業年金と労使関係 企業年金 359 09.7
- 時間切れが迫る適格退職年金 早目の交渉が必要(インタビュー)(竹詰 仁) 企業年金における労働組合
の果たす役割と責任(インタビュー)(森戸英幸) 年金, 退職金の性格を明確にし労使双方で真剣な話し合
いを
- * 企業年金が危ない! 李洪茂, 小笠原義秀 講談社 B6.221 09.4
65. 福利厚生
-
- 日本企業の福利厚生制度に関する報告 松田陽一, 郭琳 岡山大学経済学会雑誌 41-1 09.6
66. 教育・訓練
-
- 特集 現場に信頼される教育スタッフになる! 企業と人材 950 09.7.5
- 社員が直面している現実を直視しながら現場に役立つ研修を提供する(渡邊桂子 聞き手:栗原知女) 社
是「同心戮力」と理念が一致 人への関心を高め, 広く社会貢献を目指す(綱島康高 聞き手:浅野香奈)
人材開発担当者に求められる理念と役割(秋場 隆)「学習する文化」に自ら設計した育成フレームを融合
トレーニングが効果を発揮するサイクルを回す(戸谷香織 聞き手:中村相)
67. リストラ・雇用
-
- ドイツにおけるリストラクチャリングの際の従業員代表の役割 成田史子 季刊労働法 225 09.夏季

期間雇用労働者と人員整理 整理解雇裁判例の分析	中村和夫 原 昌登	静岡大学法政研究 労働法学研究会報	13-3/4 09. 3 2456 09.7. 1
----------------------------	--------------	----------------------	------------------------------

68. 安全衛生管理

特集 労働衛生の歴史と現状・日仏比較	大原社会問題研究所雑誌	609 09. 7
フランスにおける珪肺の職業病としての認知 (ジャン・クロード・ドゥヴァンク 訳: 廣田功) フランスにおける工業労働と労働者の身体 (1820-1914) (齊藤佳史) 日本における職業性疾患としての珪肺症 (ベルナル・トマン 訳: 関口涼子)		
*健康に働くこととは	竹田 透 労働調査会	B5.135 08.10

V 労働・社会政策

70. 総記

日本におけるコンパクトシティ構想	松崎徳之, 齋藤康晴 大学院研究年報 (中央大) 公共政策研究科篇	2 09. 2
特集 フェミニストはこう読む 金融危機と経済対策	女たちの21世紀	58 09. 6
貧困層と女性に公正な財政を (インタビュー) (大沢真理) 経済危機に追い詰められる女性労働者 (伊藤みどり) ジェンダー視点が照らし出す「グローバル危機対策」の不毛 (竹信三恵子) フェミニスト経済学から見るグローバル経済と金融危機 (インタビュー) (足立真理子)		
特集 格差社会のオルタナティブ	アジェンダ 未来への課題	25 09. 夏号
スウェーデンのコスト感覚に学ぶ (榊原裕美) フィンランド女性の社会進出と平等について (山田真知子) オランダ・ポルダーモデルが教える格差社会脱皮のヒント (リヒテルズ直子) 連帯経済の中の協同組合 (岡安喜三郎) 新たな「公共」的社會を模索する地域 (南部メキシコ) の取り組みについて (北野 収) 「キューバ社会のいま」を読む (石橋 正) プータンの「国民総幸福度」という考え方 (平山修一)		
阿部彩さん『子供の貧困 日本の不公平を考える』 阿部彩 聞き手: 行方久生 季刊自治と分権		36 09. 7
貧困と格差の最新状況と深めるべき論点	後藤道夫 季刊自治と分権	36 09. 7
特集 現代の貧困にどう立ち向かうのか	月刊福祉	92-8 09. 7
数値でみる現代日本の貧困 (後藤道夫) 現代の日本の「貧困問題」をどうとらえるのか (インタビュー) (岩田正美 聞き手: 大迫正晴)		
特集 半貧困 連帯社会の創造	情況	10-6 09. 7
社会活動家を増やせ (インタビュー) (湯浅誠 聞き手: 桂木行人) 障害者も労働権を持つ (インタビュー) (斎藤縣三 聞き手: 情況編集部) 所得再分配国家の終焉 (インタビュー) (神野直彦 聞き手: 情況編集部) 全国ユニオンは「明るく・激しく・楽しく」闘い続ける (高井 晃)		
特集 働き方と生活保障 当面する課題を探る	女性と労働21	69 09. 5
ジェンダーの視点で読む各政党の雇用・労働政策 (山岡熙子) EU2008年に画期的な社会政策を展開 (柴山恵美子) 社会の再生産の危機へ (大沢真理)		
定額給付金とベーシック・インカム	小沢修司 人権21	200 09. 6
特集 経済危機とくらし	生活協同組合研究	401 09. 6
貧困・低所得に抗するベーシック・インカム戦略 (小沢修司) 雇用危機とワークシェアリング (松村文人) ホームレスの人々をめぐる政策と問題 (山口恵子) 急拡大する教育格差 (福地 誠) 大恐慌下の都市生活と消費組合 (井内智子) 経済危機と生活保障 (神野直彦)		
各国における中小企業政策の現状と日本の政策課題	田中 充 中小商工業研究	100 09. 7
経営の一翼を担う女性たち	徳井美智代 中小商工業研究	100 09. 7
今日のEU中小企業政策とSBA小企業議定書	三井逸友 中小商工業研究	100 09. 7
地域からの経済再生と中小企業の役割	岡田知弘 中小商工業研究	100 09. 7
地域経済振興・地域社会づくりを担う中小商工業の経営と役割		
(座談会) (司会: 吉田敬一 出席者: 磯谷吉夫, 大石邦子, 小林秀一) 中小商工業研究		100 09. 7
地域経済振興と中小商工業の経営と運動の課題	吉田敬一 中小商工業研究	100 09. 7
東アジアから見た日本の中小企業の課題	黒瀬直宏 中小商工業研究	100 09. 7
「反貧困」でつながった住まいをめぐる問題と運動	稲葉 剛 賃金と社会保障	1492 09.6.下旬
特集 貧困の時代を超えて	寄せ場	22 09. 5

デモクラシー・ナウ！から見る米国の貧困拡大，テント村，難民（川上奈緒子 中野真紀子）これはホームレス運動の夜明けなのか？（林 真人）官製雇用不安と外国人労働者（丹野清人）排除と包摂，排除と介入（西澤晃彦）夕張財政破綻の背景（田巻松雄）戦後日本史論の試み（松沢哲成）			
総合労働相談の件数は約108万件と増加傾向	労働法令通信	2182	09.6.8
71. 雇用・労働市場政策			
政府「雇用対策」と緊急雇用創出施策への対応	大槻 操	議会と自治体	135 09.7
雇用を守る助成金活用マニュアル	寺田 晃	労政時報	3750 09.5.22
特集 介護労働の実情に迫る		労働調査	476 09.6
介護労働の実像（西川真規子）介護労働者の現状と課題（篠原淳子）			
セーフティネットとしての雇用の保護	和田 肇	労働法律旬報	1698 09.6.下旬
雇用保険関係各種助成金制度の概要（Ⅰ）～（Ⅲ）		労働法令通信 2180～2182	09.5.18～09.6.8
2009年度 全国安全週間実施要綱まる		労働法令通信	2182 09.6.8
改正次世代育成支援対策推進法の施行通達（上）		労働法令通信	2182 09.6.8
*労働再規制	五十嵐仁	筑摩書房	B40.238 08.10
*職業相談におけるアクションリサーチ		労働政策研究・研修機構	A4.171 09.4
*新しい労働社会	濱口桂一郎	岩波書店	B40.220 09.7
72. 賃金政策			
0.20月分の支給を凍結		旬刊賃金・労務通信	62-14 09.5.25
74. 安全衛生政策			
*安全の指標 平成21年度		中央労働災害防止協会	13×B6.295 09.5
*職場で活用できる労働安全衛生法の基礎知識	古市泰久	学習の友社	A5.117 09.6
75. 職業教育・訓練政策			
2008年度ものづくり白書 中核人材の育成・確保や技能継承が重要		労働法令通信	2182 09.6.8
*労使関係白書 2009		日本生産性本部生産性労働情報センター	A4.128 09.7
76. 社会保障政策			
介護保険制度と介護の市場化	矢澤晃子，中村亮	大学院研究年報（中央大）公共政策研究科篇	2 09.2
障害者自立支援法と障がい者運動	瀬端 瞳	大学院研究年報（中央大）公共政策研究科篇	2 09.2
知的障害者の脱施設化の論点に関する文献的研究	樽井康彦	生活科学研究誌（大阪市立大）	7 09.3
介護報酬改定に係る社会保障審議会への諮問・答申について			
	（談話）（清水俊朗）	福祉のなかま 情報版	171 09.4
平成21年度介護報酬改定に関する審議報告			
	社会保障審議会介護給付費分科会	福祉のなかま 情報版	171 09.4
特集 介護認定新基準の検証		議会と自治体	135 09.7
改悪への怒りを社会保障を拡充する政治への転換に（榛田敦行）「介護切り」の実態と撤回へ地域からの共同（大阪）（日下部雅喜）			
ドイツの介護保険制度改革	松本勝明	介護保険情報	10-4 09.7
いのちのふるさとシンポ（パネリスト：日野秀逸 河合克義 高橋繁		コーディネーター：佐藤嘉夫）	
		季刊自治と分権	36 09.7
障害者自立支援法改正に向けて	京極高宣	月刊福祉	92-8 09.7
ソーシャルワークにおける終末期ケアの意義	佐藤蘭美	現代福祉研究（法政大）	9 09.3
介護報酬3%上げをどう考える	結城康博	自治労通信	735 09.3/4
社会保障のネオパラダイムを求めて（8）～（10）			
	ネオパラダイム研究会	社会保険旬報 2390～2392	09.6.11～09.7.1
「厚生労働省分割論」考	増田雅暢	週刊社会保障	2534 09.6.15
文化と社会保障	宮森一彦	週刊社会保障	2534 09.6.15
「福祉元年」再考	田多英範	週刊社会保障	2535 09.6.22
金融危機と年金の財政運営	若杉敬明	週刊社会保障	2536 09.6.29
診療報酬改定で専門性の高い看護職の配置の評価を			
	（インタビュー）（久常節子）	週刊社会保障	2536 09.6.29

補正予算と地域医療再生	大道 久	週刊社会保障	2533	09.6.8
民間保険を取り巻く現状2008～2009	徳常泰之	週刊社会保障	2533	09.6.8
2025年の地域包括ケア	辻 一郎	週刊社会保障	2537	09.7.6
グアテマラにおける高齢者の所得保障	山田 晋	週刊社会保障	2537	09.7.6
「希望・安心」・持続可能な社会保障制度の課題	金澤誠一	中小商工業研究	100	09.7
地方財政健全化法と市民生活への影響	川瀬憲子	中小商工業研究	100	09.7
続・ハウジングブアへの公的施策の貧困	稲葉 剛	賃金と社会保障	1490	09.5.下旬
リスボン戦略に始まるEU年金政策の新たな展開	大谷津晴夫	南山経済研究	24-1	09.6
企業年金制度改革の背景と問題点	宮本一弘	連合	22-2	09.5
制度移行にあたって労働組合の判断ポイントとは？(インタビュー)(西村 淳)	連合		22-2	09.5
* 国立社会保障・人口問題研究所年報 平成21年版	国立社会保障	人口問題研究所	A4.99	09.7

77. 社会福祉政策

上海における高齢者の居住環境の整備動向と課題

福田真希, 森一彦, 三浦研, 李慶麗, 李斌 生活科学研究誌 (大阪市立大) 7 09.3

特集 情報保障・コミュニケーション支援

季刊福祉労働 123 09.Summer

意思伝達不可能性は人を死なせる理由になるのか(川口有美子)「情報保障」への、かくも遠き道のり(永井 哲)教科書バリアフリー法と視覚障害児の学習権(宇野和博)すべての人にとってわかりやすいとは(座談会)(小林勇輔 奈良崎真弓 李美貞 遠藤美貴 長瀬修 司会:石毛鏡子)裁判員制度と情報保障(田中邦夫)

住民参加型在宅福祉サービス提供組織における事業運営についての考察

土屋典子 現代福祉研究 (法政大) 9 09.3

学童保育指導員の現状と課題

真田 祐 国民生活研究 49-1 09.6

福祉労働は公務労働である

泉谷哲雄 社会保障 425 09.夏

特集 障害者支援施設の今後の展望

ノーマライゼーション 29-6 09.6

自立訓練・機能訓練施設の今後の展望(青木一男)知的障害者入所施設の新体系移行をめぐって(樋口幸雄)障害者自立支援法による新体系移行の経緯と今後の展望(叶原生人)障害者の「働く・暮らす」を考える(叶 義文)精神障がいのある方を中心とした就労支援(佐藤省子)

介護保険市場における営利法人についての考察

中村晋一郎 龍谷大学大学院法学研究 10 08.7

* 反貧困と派遣切り

湯浅誠, 福島みずほ 七つ森書館 B6.163 09.3

78. 労働法

イギリス労働法における雇用契約の推定

新屋敷恵美子 季刊労働法 225 09.夏季

中小企業に対する労働法規制の適用除外

山川和義 季刊労働法 225 09.夏季

中小企業に対する労働法規制の適用除外

関根由紀 季刊労働法 225 09.夏季

自立支援法は介護保険から自立できるか?

里見賢治 賃金と社会保障 1491 09.6.上旬

特集 雇用危機と労働法の役割

労働法律旬報 1697 09.6.上旬

雇用危機下の解雇法理と退職をめぐる法理(根本 到)経営悪化を理由とする有期契約の更新拒否(中島正雄)「派遣切り」の法的諸問題(中野麻美)失業労働者の生活保障と雇用保険法(木下秀雄)雇用危機と労働法(西谷 敏)職業紹介・教育訓練と法制度(沼田雅之)

* 問題解決労働法 3～9

宮里邦雄, 徳住堅治編 旬報社 A5.186～A5.191 09.1

* 労働組合のための労働法

宮里邦雄著 全国労働委員会労働者側委員連絡協議会監修 労働教育センター A5.159 09.2

* 働く人が会社ともめずにつきあう方法

角村俊一 ダイエックス出版 B6.195 09.3

79. 労働判例

A ラーメン事件

開本英幸 季刊労働法 225 09.夏季

他社への長期出張中に発症したうつ病について、会社および出張先会社への損害賠償請求が認められた例

小田倉秀二 季刊労働法 225 09.夏季

労働基準法上の「管理監督者」の判断基準

三澤利紀, 土田道夫 同志社法学 334 09.5

人事院マイナス勧告と期末勤勉手当

小畑史子 労働基準 61-6 09.6

平成19～20年版実務に活かす重要労働判例

山田省三 労働法学会研究会報 2455 09.6.15

期末勤勉手当による減額調整の適法性	國武英生	労働法律旬報	1696	09.5.下旬
障害者の採用差別の場合に補償を否定したドイツ法がEU指令に反するとされた例	高橋賢司	労働法律旬報	1698	09.6.下旬
併存組合下での一方組合に対する組合事務所貸与拒否と不当労働行為	天野晋介	労働法律旬報	1698	09.6.下旬

VI 世界労働

90. 総記				
国際労働力移動と教育	佐久間孝正	移民政策研究	1	09.5
91. アジア				
グローバル化とインドの経済自由化	二階堂有子	Working paper (法政大)	147	09.6
日本企業とアジアにおける労働CSR	香川孝三	国際産研	28	09.6
新憲法が認められれば、今世紀中の民主化はきわめて困難になる	根本 敬	連合	22-2	09.5
世界の労働組合と連帯し、民主化にむけて闘いつづける	マウン・ミンニョウ	連合	22-2	09.5
* 小さな変革	ヒューマン・ライツ・ウォッチ著 金谷美和監訳	創成社	A5.190	09.3
* 中国の労働事情	戴 秋娟	社会経済生産性本部生産性労働情報センター	A5.94	09.4
93. ヨーロッパ				
特集 世界大恐慌下で動乱渦巻く欧州		国際労働運動	395	09.7
体制内派と闘う仏労働者 仏第4インターの転向				
ドイツの労働改革と社会保障	松丸和夫	経済	166	09.7
* 労働と人生についての省察	シモース・ヴェイユ著 黒木義典, 田辺保訳	勁草書房	B6.272	04.3
* 移民の社会的統合と排除	宮島喬編	東京大学出版会	A5.251	09.6
95. 北アメリカ				
世界の労働組合		国際労働運動	95	09.7
特集 オバマ新政権のめざすもの 米国の労働・社会・経済		世界の労働	59-5	09.5
オバマ政権の労働政策 (沼田雅之) オバマ政権の社会保障政策 (天野 拓) 歴史的転換期を迎えたアメリカ経済 (熊野剛雄) オバマと国際労働運動 (篠田 徹)				
クライスラー&GMの破綻	訳: 喜多幡佳秀	労働情報	769	09.6.15
98. 国際労働運動				
国際労働運動の暦		国際労働運動	395	09.7
特集 海外の労働運動と雇用危機		国際経済労働研究	991	09.7
EUの雇用問題と労働運動 (小島正剛) アメリカにおける雇用保障制度の変遷 (篠原健一) 「グローバル危機」と労働組合運動 (中嶋 滋)				
99. ILO, 国際機関				
ILO「金融部門の雇用に関する影響と対応」(報告) (石川耕治)		世界の労働	59-5	09.5
「第98回ILO総会議題」の紹介	ILO 駐日事務所	世界の労働	59-5	09.5
ビルマの平和や人権を守るため、国境を越えた労働者の連帯を	塩田正行	連合	22-2	09.5
ジェンダー平等とディーセント・ワーク	斎藤 周	労働法律旬報	1696	09.5.下旬
* 国際比較: 仕事と家族生活の両立	OECD編著	明石書店	B5.206	09.7

VII 歴史

100. 総記				
* 震災・戒厳令・虐殺	関東大震災85周年シンポジウム実行委員会編	三一書房	A5.147	08.8
* 近代大阪の地域と社会変動	広川禎秀編	部落問題研究所	A5.391	09.6
* 日本戦没学生思想	岡田裕之	法政大学出版局	B6.335	09.7
101. 生活・労働史 (日本)				
戦間期日本の商船教育	三鍋太朗	大阪大学経済学	59-1	09.6
* 賀川ハル史料集 1巻~3巻	三原容子編	緑蔭書房	B5.451~B5.443	09.7
102. 生活・労働史 (外国・国際)				

* 高群逸枝の生涯	堀場清子編	ドメス出版	A5.251	09.6
105. 社会事業・慈善事業史				
* 石井十次と岡山孤児院	細井 勇	ミネルヴァ書房	A5.547	09.7
* 社会事業の基本問題 全訂	孝橋正一	ミネルヴァ書房	A5.348	09.7
108. 労働運動史(日本)				
祝・第80回メーデー記念企画 労働運動の原点、ここにあり！メーデーの歴史にいま学ぶこと	梅田俊英, 間宮悠紀雄	連合	22-2	09.5
110. 社会主義運動史(日本)				
* 大逆事件と知識人	中村文雄	論創社	B6.433	09.4
* マルクスの逆襲	三田誠広	集英社	B40.218	09.5
111. 社会主義運動史(外国・国際)				
* 新しいインターナショナルリズムの胎動	ダニエル・ベンサイド著 湯川順夫他訳	柘植書房新社	B6.300	09.6
* ドプロリュエボフ著作選集 別巻 ベ・イ・スチポールスキー他著	横田三郎訳	鳥影社	A5.198	09.7
112. 諸社会運動史				
戦後後期の国立公園制度の整備・拡充(5)	村申仁三郎	経済志林(法政大)	77-1	09.6
* 鎌倉広町の森はかくて守られた 鎌倉の自然を守る連合会		港の人	A5.307	08.12
* ガイドブック水俣を歩き、ミナマタに学ぶ 改訂版	熊本学園大学水俣学術研究センター編	熊本日日新聞社	A5.63	09.3
* 自由民権運動と静岡事件	原口清著 田村貞雄解説	岩田書院	A5.401	09.4
* 1968 上	小熊英二	新曜社	A5.1091	09.7

【協調会史料】 法政大学大原社会問題研究所 監修
協調会研究会(梅田俊英・高橋彦博・横関圭) 編

■労働問題を「人」の問題として捉えた最初期の雑誌
『労働雑誌』「人と人」復刻版(第一回配本)
菊村上製 全11巻 総6,000頁 揃294,000円

広く労働者の購読に供する目的で、一九二二年に協調会が創刊した大衆啓蒙雑誌を全2回配本で復刻。教育の機会均等の必要を論じ、無産政党の動向を詳報、文化記事も充実。

■わが国労働安全運動の源流と展開過程が明らかに
『産業福利』復刻版(全3回配本)
I 一九二七～三三年 A4判上製 総2,710頁 揃294,000円
II 一九三三～三八年 A4判上製 総2,814頁 揃294,000円
III 一九三九～四四年 A4判上製 総2,500頁 揃294,000円

■大原社研が保管する膨大な協調会基幹史料を公開
『日本社会労働運動資料集成I・II』(マイクロフィルム版)
I 一九二〇～三〇年代 全114リール 揃2,730,000円
II 一九三一～四〇年代 全62リール 揃1,575,000円

■歴史的価値の高い精密な生活実態調査の記録
『都市・農村生活調査資料集成I・II』
I A5判上製 全12巻 総4,760頁 揃262,500円
II A5判上製 全12巻 総6,080頁 揃262,500円

■社会労働運動史の定説を覆す、再評価の試み
『協調会の研究』 法政大学大原社会問題研究所 編
梅田俊英・高橋彦博・横関圭 著
A5判上製 388頁 5,460円

■両機関の営みに共通する地下水脈を探索する
『戦間期日本の社会研究センター』 大原社研と協調会
高橋彦博 著
A5判上製 364頁 6,090円

柏書房 〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-13-14 TEL.03-3947-8251 FAX.03-3947-8255
<http://www.kashiwashobo.co.jp>

<価格税込>